

日本氏族会連絡協議会/全国まなべ会所属氏族会

兵庫まなべ会だより

全国まなべ会ホームページ <http://www.interq.or.jp/power/manabe/>

発行/兵庫まなべ会 本部
〒679-1107
多可郡多可町中区奥中797
Tel# 0795-32-2047
Fax# 0795-32-2762
編集/兵庫まなべ会事務局
〒673-0008
明石市沢野一丁目2番3号
Tel&Fax# 078-927-8467

新任、並びに新春ごあいさつ

兵庫まなべ会 会長
全国まなべ会副会長

真鍋成之



新年あけましておめでとうございます

新春を迎え会員の皆様にはご清祥のこととお喜び申し上げますと共に
益々のご隆盛をお祈り申し上げます。

この度平成23年度総会におきまして、皆様方のご推薦により諄一前会長の
後任として兵庫会長の大役をお引き受けすることになりました。

もとより浅学非才その器でないことは重々承知しておりますが、お引き受けしました以上は微力ながら
もその職責を果たしたく存じます。

さて、兵庫まなべ会は平成12年4月設立以来、満10年を経過し、ようやく周回軌道に乗った感が致し
ます。私の役目はこの軌道から外れることなく円滑にコントロールすることが最大の務めかと存じます。

幸いに幅広い年齢層の会員様と結束力に定評がある良き環境の中で、“まなべ姓”にしか共有できな
い誇りと絆をもとに親交の輪を広めて行くことが出来ればと願っております。

具体的には会員皆様へのきめ細かな情報提供と魅力ある会運営に努める。総会参加への積極的な
働きかけ。マスメディアによる情報発信。そして会員間のコミュニケーションと
新会員の勧誘など取り組むべき課題は多々ありますが、いずれに致しましても
これらを推進するには役員の皆様はもとより会員の皆様方の温かいご支援が
大きな支えとなることは言うまでもありません。

混迷と不安が交差する現代、今こそ「まなべさんの絆」をより確かなもの
にしていきたく存じますので重ねてご協力の程よろしくお願い申し上げ
就任のご挨拶と致します。



退任ごあいさつ

前兵庫まなべ会 会長
前全国まなべ会副会長

真鍋諄一



名会長一夫さんの後を受け、10年に一度の大事業であります神戸全国大会
の開催を担当した思い出多き、会長冥利に尽きる経験をさせて頂きました。これ
も役員さんをはじめとする会員皆さま方のご協力の賜物と有り難く厚く感謝申し
上げます。

今後はまなべさんが沢山お住まいの多可町の住人であり、昭和17年生まれ
の若き成之さんをお願いします、彼のバイタリティーに期待致し度。

◎ 兵庫まなべ会役職別会員数(平成22年12月31日現在)

単位：名

| 支部名 | 全国役員 | | | | 一般会員 | 合計 | 備考 |
|-----|------|----|-----|----|------|----|-------------|
| | 顧問 | 理事 | 評議員 | 小計 | | | |
| 神戸 | | 1 | 2 | 3 | 6 | 9 | |
| 阪神 | 2 | 2 | 3 | 7 | 14 | 21 | 含む, 三田市・宝塚市 |
| 播磨 | 1 | 3 | 6 | 10 | 10 | 20 | |
| 多可 | 1 | 3 | 6 | 10 | 8 | 18 | 含む, 西脇市 |
| 合計 | 4 | 9 | 17 | 30 | 38 | 68 | |

注1: お知合いの『まなべ』さんで入会をご希望される方がおられれば役員まで何時でも結構、ご一報のほど宜敷くお願いします。一般会員の会費は年額1,000円です。

◎ 平成23年度総会が加古川市会席料理屋「かき庄」で開催さる…

昨年11月23日(勤労感謝の日), JR加古川駅近くの老舗会席料理屋「かき庄」にて平成23年度総会が開催された。加古川市での開催は初めて, 今年は神戸大会の実行委員会に始まり, 反省会等殆んどを同地で行いました。急遽, 入院加療することとなり, 昨年同様直前に欠席申出の勇・種子さんご夫婦を除き, 出席者15名。



全員集合

今年は役員改選の年, 議題の目玉, 新会長に多可町の成之さん(68歳)が全員一致で選出・承認されました。その他役員は次頁のとおりです, 諄一前会長さんご苦労様でした。

その他主要議案は(1)真鍋島千人碑第3期建立計画推進協力, (2)会報「兵庫だより」第4号を平成23年1月1日付にて発行する, (3)全国役員の増強などにつきましても承認。なお, 会計決算は兵庫まなべ会々計と, 神戸大会々計の2様につき正昭会計より報告, 亨監査より「問題なし…」の監査報告, 兵庫会計決算は6/6頁のとおりです。

アルコールが入り, 和気あいあいのなか色々な提案が…, 修司さんからは来年の総会は尼崎で, 全国最年少の女性新市長稲村さんをお招きしては如何…, とか, 誠次さんからは兵庫まなべ会として真鍋島参拝を行っては…, 当会の活性化に寄与するような話題, 新成之体制への

期待と夢を肴に和やかな雰囲気の中で秋の一日を楽しみました。

(3) 会報一兵庫まなべ会だより 第04号

平成23年(2011年)1月1日

◎ 成之新会長体制発足 (氏名の後は年齢)

| | | |
|--------------|------------|---------------------------|
| 会 長 | 真鍋 成之 (68) | Tel # 0795-32-2047 (新任) |
| | | Fax # 0795-32-2762 |
| 副 会 長 (神戸担当) | 真鍋 栄三 (61) | Tel&Fax 078-303-4098 (留任) |
| 副 会 長 (阪神担当) | 真鍋 壽 (77) | Tel # 072-759-4836 (留任) |
| 副 会 長 (播磨担当) | 真鍋 博 (67) | Tel&Fax 0795-42-5226 (留任) |
| 副 会 長 (多可担当) | 真鍋 亨 (73) | Tel&Fax 0795-37-1010 (新任) |
| 幹 事 長 | 真鍋 誠次 (65) | Tel&Fax 079-426-1967 (留任) |
| 幹 事 | 真鍋 修司 (47) | Tel&Fax 06-6422-4285 (留任) |
| 会 計 | 真鍋 正昭 (62) | Tel&Fax 0795-32-1702 (留任) |
| 事務局長 | 真鍋 富夫 (73) | Tel&Fax 078-927-8467 (留任) |
| 監 査 | 真鍋 元保 (66) | Tel&Fax 078-791-7193 (留任) |
| 監 査 | 真鍋 政裕 (60) | Tel&Fax 079-568-6133 (新任) |

◎ 神戸大会の反省会を開催

昨年8月7日(土), 神戸大会実行委員会の委員13名が参加してJR加古川駅前のヤマトヤシキ7階中国料理赤坂飯店にて大会反省会が開催された。(欠席3名)

一昨年8月, 神戸しあわせの村研修館会議室にて臨時役員会を開催, 昨年1月30日以降5回の実行委員会等にて, 神戸大会の準備を進めました。また, 大会当日は朝9時から会場の整備をはじめ, 受付の準備などを行い, 引き続き総会, 夜景観賞ミニツアーや, 明るく観光等の運営等実行委員全員で頑張りました。お陰様で全国よりご参加のみなさんには喜んで頂きました。



◎ 全国まなべ会第31回総会「紀州白浜大会」の計画概要のお知らせ

1. 大会名称 ◆ 第31回 紀州白浜大会
2. 日 時 ◆ 平成23年6月11日(土) 15時30分～
3. 場 所 ◆ コガノイベイホテル(古賀の井ホテル)
〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町3212-1
☎0739-43-6000, Fax0739-43-5805
JR紀勢線白浜駅より無料シャトルバス, 又はタクシーで約10分
車の場合は阪和自動車道南紀田辺I/Cより約10分。
4. 大会日程
(1) 6月11日(土) 総会, 懇親会
(2) 6月12日(日) 観 光

詳細は全国まなべ会々報第41号にて案内予定。みなさんご都合をつけて参加しましょう。

「真鍋城」と称する城郭や、真鍋さんが城主の城跡などご存知ですか！

- ① 和泉国和泉郡下条村(現大阪府泉大津市神明町)の真鍋城(平城) ⇒ 築城は南北朝時代、楠木正成の侍大将で河内在住だった真鍋五郎衛門貞縄まなべごろうえもんさだなわが住み着く、6代下がつて主馬兵衛貞友しゅまへいゑいさだともは大坂川口合戦で戦死、その子第8代ごろうえもんさだなり五郎右衛門貞成の時代、天正13(1585)年に羽柴秀吉の馬廻り役を命じられ、大阪城に居を構えたことにより撤去され、その後、城跡の一角に一向宗長泉寺が建立され更に、延宝年間に浄土宗南溟寺に改称。
- 現在、城跡を偲ぶものはありませんが、本堂入口に『真鍋城址』の石碑(右の写真)が泉大津市により建立されております。
- 
- ② 岡山県笠岡市の真鍋島城(山城) ⇒ 真鍋島の東端、東の山と称される標高127メートルの城山しろやまにあったが、明治以降の採掘で原形を失い、往時の遺構を知ることは出来ない。此れよりやや西方にあります標高84.5メートルの通称城山じょうやまに真鍋城址があります。規模は小さいが、当時の礎石、石垣などが残り、中世水軍の真鍋城として、当島の開発領主は真鍋四郎裕久まなべしろうひろひさと備中誌鑑に記載されております。
- ③ 備中国都窪郡山手村(岡山県総社市)の幸山城こうざんじょう(山城) ⇒ 城主は細川氏の被官石川久智氏ですが砦城主に真鍋氏の名がみえる。別名甲山城,高山城ともいう。
- ④ 讃岐国木田郡太郷(現高松市木太町)の向城むかいじょう(平城) ⇒ 城主に真鍋弥助祐重まなべやすけすけしげ、祐主すけぬし親子がみえる。城の名ははじめ奥城と言われていましたが、対立する十河氏方そごうの城内城と白山神社を挟んで東西に向かい合っていたので向城と呼ばれるようになった。
- ちなみに、真鍋氏は香西氏に属していました。
- ⑤ 伊予国新居郡中萩村(現愛媛県新居浜市中村)の真鍋城(平城) ⇒ 築城は真鍋近江守孝綱おうみのかみたかつなで広さは一町三反歩の広さだった由。先の和泉国真鍋城と略々同一の規模であり、城主が関連していると思われる。城跡は子孫が事業に失敗、逼寒し大正3年に売却され、現在は民家が建ち並び城址を偲ばせるものは残っている井戸1ヶのみである。
- ⑥ 伊予国宇摩郡中曾根(現愛媛県伊予三島市中曾根町)の松尾城(山城) ⇒ 築城主にまなべおおいのすけみちかね真鍋炊大介通周がみえる。豊臣秀吉の四国征伐による毛利軍団の小早川隆景と壮絶な激戦に善戦するも力及ばず郎党を含め全員戦死。

出典：昭和57年12月1日発行大阪まなべ会創刊号、及び平成2年2月吉日発行真鍋武著『まなべ氏一口メモ』。

◎ 第30回記念神戸大会を当会のお世話で開催！

その日、朝が明けた。神戸の空は蒼かった。清々しい晴天だった。みんなの祈りが通じた。これで成功は間違いない、そう確信した。ときは平成22年5月15日(土曜日)、第30回記念神戸大会が開催される日だ。当日、9時30分ホテルパールシティ神戸に当会神戸大会実行委員会のメンバーが集まり、運営部会が始まった、諄一会長より激励の言葉、続いて成之副会長(運営部会長)より準備作業の分担や、配置などの指示があり「笑顔で全国の友を迎えよう、丁寧な対応を心懸けよう、そして安全に」の合言葉を確認、全員で受付や、会場設営等の作業を開始。

準備作業の半ばには早々と全国から続々「まなべ」さんが参集してきた。暫しお待ちいただき受付を開始、新聞社や、テレビクルー等の取材があら此方で始まった。ホテル5階で開催されていた全国副会長会議も予定時間内で終了。



第30回記念 全国まなべ会総会(先祖祭) 神戸大会 平成22年5月15日 於 ホテルパールシティ神戸

定刻の15時30分、司会の栄三副会長が総会開会を宣言、ご先祖様、物故会員に対する黙祷、諄一会長の歓迎のことば、勝全国会長のあいさつの後、各賞表彰が行われた。栄賞は阿波まなべ会の真鍋俊照氏、30回記念表彰に4名、長寿賞には9名の方々が表彰された。兵庫は該当なし。

その後、議事には入り、過去の慣例にない司会者が引き続き出席者の賛同を得て議長を務め盛り沢山の報告・審議事項を特急列車並の1時間で終了した。主な審議事項は①新会長に修阿波会長を選出②会則改定③第3期千人碑募集④来年の大会は紀州白浜などです。

総会終了、約15分の休憩をはさみ、当会の真鍋和也(刀工名純平)氏の「かたなのつくりかた」につきスライドを使い分かり易い講演を聞く。

ABCテレビ取材用カメラが廻る中、記念写真に続き、懇親会、家島里佳さんの流暢な司会で開始、成之副会長の歓迎の挨拶に続き、幸生近江会長の発声で献杯・乾杯を行い会食がはじまる。

アトラクションでは当会の博さんがハーモニカ奏を、亨さんが演歌「まつり」を熱唱。各地区紹介では当会が高松大会で唄った「世界の街からこんにちは」の替え歌を再披露、歌詞を全員に配布、出席の皆さん共々熱唱、これは兵庫の持ち歌ですネと言われる。懇親会終了後、六甲山中腹の「ビーナスブリッジ」からの夜景観賞ミニツアーに47名が参加、一千万ドルの夜景を鑑賞。

明るく16日(日)も五月晴れの好天、祈りが通じた。神戸港クルージングに始まり生田の森、境内で神戸まつりの仮想出場する西郷隆盛、坂本竜馬などを見学したことで時間がなくなり、昼食後は北野異人館街を省略、白鶴酒造へ直行、利き酒を楽しみ、お土産を仕入れ、三宮、新神戸、神戸

空港夫々で来年の紀州白浜での再会を約してお別れ。昨年夏から準備願った実行委員会の皆様大変お疲れさまでした。(栄三記)

(6) 会報—兵庫まなべ会だより 第04号

平成23年(2011年)1月1日

◎ 平成22年度会計決算報告

○ 一般会計決算報告書(要約版) 平成21年10月1日～平成22年9月30日 単位:円

| 区分 | 項目 | 金額 |
|------------------|----------------------------------|---------|
| 収 入 の 部 | (1)前年度繰越金 | 91,958 |
| | (2)全国まなべ会本部補助金 | 12,200 |
| | (3)寄付 | 30,000 |
| | ア. 真鍋諄一様(兵庫会長) 10,000円 | |
| | イ. 真鍋一夫様(兵庫顧問) 10,000円 | |
| | ウ. 真鍋和子様(阪神支部) 10,000円 | |
| 支 出 の 部 | (4)平成22年度総会々費 | 182,000 |
| | ア. 8,000円×19名=152,000円 | |
| | イ. 6,000円×5名=30,000円 | |
| | (5)第30回神戸大会より寄付 | 30,984 |
| | (6)貯金利子(H20-10/1, H21-4/1, 10/1) | 1,002 |
| | 合計 | 348,144 |
| 支 出 の 部 | (1)平成22年度兵庫まなべ会総会費 | 172,192 |
| | (2)平成22年度総会写真代,及び送料 | 8,282 |
| | (3)兵庫まなべ会だより第3号印刷代(130部) | 4,095 |
| | (4)神戸大会の参加者への記念品代(当会よりの寄付) | 15,500 |
| | (5)弔電,会報など資料送料(延べ発送数は118通) | 10,020 |
| | 合計 | 210,089 |
| | 差引き残高 | 138,055 |

残高(次期繰越金)明細

○ 一般会計 郵便貯金総合通帳(#14360-71952351) = 138,055 円

○ 現金 = 0 円

○ 特別会計 (1) 平成23年4月6日満期6ヶ月定期貯金 = 300,000 円

(2) 神戸大会記念品(小瓦煎餅)代として100,000円支出。

以上の通り相違ありません。

監査 真鍋 亨 (印)

真鍋 元保 (印)

注1: 当会々計は毎10月1日より翌年9月30日までの1年間です。

注2: 当会の会計は全国まなべ会補助金(平成21年度は13,000円, 22年度は12,200円), 並びにご寄付にて運営されております, 総会等の行事はその都度会費を徴収致します。

◎ 平成22年度会計決算監査の実施

昨年10月9日(土)加古川市学校厚生会々館にて平成22年度の会計決算に関する監査を成之副会長富夫事務局長立会で亨・元保監査人により実施。

正昭会計は会計簿, 帳票類等も几帳面に記帳, 整理されており, 特に問題なく無事終了, 概要は上記のとおり。(役職は当時)



監査を終えて

編集あとがき

- ◆ 昨年は当会にとってはビッグな年でした, 全国大会を5月15日(土), 16日(日)に開催, 皆さんの行いが宜しかったのでしよう両日ともに好天に恵まれ, おめでとうございました。
- ◆ 神戸に集まった「まなべ」さんからは大会進行や, 当会が初めて実施の夜景観賞をはじめ, 沢山のお土産を頂き兵庫の皆さんの温かく, 和やかな大会を有り難うございましたと…各方面から称賛を頂きました。皆様方のご協力に感謝申し上げます。
- ◆ 諄一前会長ご苦労様で御座いました, 成之新会長宜しく申し上げます。

◆ 今年も皆様方にとりまして良い年でありますようご祈念申し上げます。

(富夫記)

-

